

## みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2003/10/31 Vol. 14 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

### 特集 / 法定合併協議会の現状と今後について

いつもお世話になっております。今回は9月議会の報告をお休みさせていただき、「印西市、白井市、本埜村、印旛村」の間で進められている、「4市村の法定合併協議会」の現状と今後について、紙面を構成し、皆様から寄せられている疑問にお答えしようと思います。

10/17(金曜日)に、第8回合併協議会が開催されました。

#### 法定合併協議会とは？

合併する事の可否も含めて、合併した場合の新市建設計画の策定や、4市村間の各種行政サービスの内容の調整などあらゆる事項の協議を行う組織です。現在、月に2回のペースで協議が進められてきており、現在8回の協議が終了しております。

#### 合併に向けて、今後はどのようにすすむのでしょうか？

現在のところ、以下のようなスケジュールで4市村合併にむけて、進んでおります。

- \* 合併にむけての協議 今年度末(平成16年3月)まで
- \* 合併協定書の決定 平成16年4月
- \* 合併協定書調印 平成16年5月
- \* 合併関係議案の提出/議決 平成16年6月

- + + 来年6月議会の議決により合併が正式に決定された場合、平成17年4月(予定)の合併にむけて千葉県、国が動く事になります。言い換えますと、4市村の議決結果によっては、合併しないということもありえます。(1つの自治体でも反対すれば、合併は白紙となります。)

#### 新市の名前を募集していますが？

「合併した場合」にどのような市の名前がよいのかを募集するもので、皆様から応募があった名前を協議会が仮に決定した場合でも、議会議決によっては、合併が成立せず、意味をなさないことも考えられます。

#### 合併の賛否を問う、市民投票は行われるのでしょうか？

印西市長は、「市民の声を充分反映して行きたい」等々の答弁は議会中やミニコミ紙の取材に対して回答しておりますが、「市民投票」についての明確な答弁は行っておりません。市民の意思を示さないまま、合併が行われることも考えられます。

#### 市民の立場から4市村合併について、どのような態度をとるべきでしょうか。

私は合併に対しては、「市民が決定するべき」だと考えております。(法制度上では、議会が判断することになりますが、もし、市民が合併に対して否定的な世論を作りだせば、合併を強行することは難しいと思います。)問題は、市民の多くが合併に関する問題にどれだけの確に理解していくかということです。また、合併論議に関連して、自分たちの街をどのようにしていくのかというまちづくりの基本的な方向についても議論していくことが重要ではないかと思えます。(11月に「新市将来構想(案)」についての説明会が予定されております。- 11/18(火)19時~サザンプラザ、11/19(水)19時~ふれあい文化館)

\* 「新市将来構想(案)」(概要版)は全戸配布させる予定です。

## ぐんじとしのりより市民の皆様へ～合併についてどのように考えていますか？

4市村の合併は、行財政の効率化や多様な人材の結集を促進し、住民福祉の向上と自立した都市づくりを目指したものであり、21世紀にふさわしい中核市実現のための大きな一歩です。また、産業振興と交流人口の増大による賑わいを創出し、広域的な視点から地域の主体性と創造性を生かした都市づくりに積極的に取り組んでいくことが可能だと考えますので、私は合併は「最終的には必要」であり、推進の立場を取ります。

しかし、現在の合併に向けての進め方には反対であり、批判をしております。

平成15年10月現在、昨年任意協議会発足以来、合併の可否を住民一人一人が判断するのに、十分な判断材料が提供されたことが一度でもあったのでしょうか。私は十分な情報が提供できていたとは考えていません。確かに自治会・町内会を通して、合併についての説明資料は配布されたことがありました。合併協議会だよりも配布されています。しかし、これらの資料は初めに合併ありきの資料であったように感じます。提供された情報は、合併しなければこの地域住民には未来がないと言わんばかりの、一方的で独断的な宣伝のようにも受け取れます。これでいいのでしょうか？

地域の住民が合併賛成・反対両者の言い分をじっくりと聞き、冷静に比較検討して合併への賛否を決めることができるような機会は、一度も与えられていなかったのではないのでしょうか。この街の存在そのものを左右し、将来の世代にわたって大きな影響を及ぼす重大問題について、一方的な情報しか与えられないままに大筋の方向が決められてしまうということは、民主的な社会においては、あってはならないことです。

私は、法定協議会の設置にあたり、「このまま合併に突き進むのか？」という危惧を改選前の3月議会で訴えました。「合併に突き進むんだからこそ、考えておかなければならないことがあります。」十分な情報が市民に行き届いているとは思えません。一方的な情報管理のもとで、市民のみなさんは、既に合併は既定路線であるように思っている。しかし、一度として、合併にむかってのゴーサインは、市民からまだ出されておられません。市民大多数の賛同を得ないうちに、この印西市を閉じてしまう計画をどんどん進めるなどということは許されません。市民大多数の意向が何らかの形で疑問の余地なく明らかにされるまで、**合併についての議論は徹底的に行うべきです。それが市民参加のまちづくりです。**私個人は、法定協議会は、2年以上かけて考えてもよいと思います。現在、開催されている協議会では会議の時間も短く、一つの協議事項について事務局からの説明がされ、質問/意見が殆ど出ないまま(34人も委員がいるにもかかわらず!)、時間だけに押されて会議は進む。また、毎日都心、市外に通う市民の皆様からの意見はいつ聞くのでしょうか？

協議会/検討委員会/ワークショップ/説明会が平日に開催されているなかで、市民への情報提供を行い、意見集約を行っているから問題ないというこの姿勢には疑問を感じます。

合併の問題を理解するためには、単なる抽象的なメリット、デメリットのみならず、具体的な対象となる市町村の財政や行政サービスの水準、産業の構造、まちづくりのありかたなど、総合的な学習が必要とされるはずで、本気でこれを市民に公開していこうとすれば、2年や3年などはすぐに過ぎてしまいます。確かに、平成17年3月末を期限とした合併では、合併特例債や財政支援策が用意されています。しかし、私達は「総務省の押しつけ合併」を選択してはならないと思います。政府によって、地方財政規模の縮減がとりざたされる中、地方交付税は、現状の半分になるとのシミュレーションもあります。国におけるスケールメリットは働くかもしれないが、市民にとっては、行政サービスのコスト削減を意味します。このこともしっかり市民は考えるべきです。

私は法定協議会に「市民への十分な情報提供に努め、特に生活に関わる問題について、他市村の状況などを伝えていき、合併についての最終判断は、住民投票で行うこと。」を引き続き、望んでまいりたいと思います。

いつもご支援ありがとうございます。次回は引き続き9月議会の報告を行ってまいります。この紙面へのご意見に限らず、市政へのご提言お待ちしております。ぐんじとしのり